

入院診療計画書

腹腔鏡下直腸切除手術を受けられる（ ）様へ

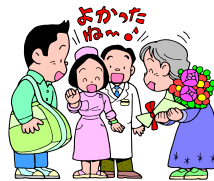
2 部 印 刷

1 部：患者 ファイル

1 部：患者 様 用

病名 年齢 生年月日 薬剤師
症状 受持看護師 病棟 管理栄養士

手術日時 年 月 日 AM・PM 時 分

病日	手術前日	手術当日		術後1日目	2日目	3日目	4日 ～ 6日目	7日目 ～ 退院日	
		(術前)	(術後)						
日付	日付を入力 ()	()		()	()	()	～	～	
目標	安心して手術を受けることができる		痛い時や調子の悪いときなどに訴えることができる		しっかりと体を動かすことができる			退院に向けての準備ができる	
食事	入院時より絶食となります (水分は麻酔科医から説明があります)		許可があるまで絶食となります。 医師の許可が出れば夕方から飲水開始となります		術後2日目から病院食が開始となります。少しずつ形態が普通の食事に近づいていきます ※必要に応じて治療食が出ます				
安静度	自由です 	ベッド上安静ですが、寝返りはできます		立ったり、歩いたりすることができます	自由です 				
清潔	シャワー浴ができます	シャワー浴はできません 義歯・指輪・ヘアピン 置鍼や湿布は外して下さい		おなかの管が入っている間は、看護師が体を拭きにまいります 			おなかの管が抜ければ、翌日からシャワー浴をすることができます 		
排泄	午後より下剤を内服します 	麻酔で眠った後尿の管を挿入します		尿の管を抜きます (必要な方はポータブルトイレ・尿器を使用できます)			制限はありません 		
検査	入院日までに手術に必要なレントゲン撮影や血液検査があります 65歳以上の方は、血液ガス検査をします			血液検査と胸部・腹部のレントゲン撮影をします  			必要時、血液検査やレントゲン撮影をします  		
治療	点滴を始めます 持参薬は特に指示がなければ続けて飲んでください ※抗凝固剤を内服している方は医師の指示のもと中止していただく場合があります 15時と21時に抗生剤の内服を開始します	朝、手術着に着替え 点滴をします 手術室で鼻から胃に管を入れます	持続点滴をします → 病状や食事摂取状況をみて点滴を終了します 抗生剤の点滴をします →  → 医師の指示があれば胃の管を抜きます 痛み止めを持続的に注入します おなかに管が入る場合が有ります → 酸素吸入をします → 酸素の状態が落ち着いていれば酸素吸入は終了します 医師・看護師が創部の状態の観察に伺います 飲水・食事が開始となれば飲み薬を医師の指示により再開します(抗凝固剤の内服は医師の指示が出れば再開します) 痛みや、発熱がある時には、医師の指示のもと対応します						
処置	おへその掃除をします  希望により眠れるお薬を内服します	医師からの指示がある方は弾性ストッキングをはきます	朝まで心電図モニターを装着します	尿の管を抜いた後、排尿状態の確認をさせていただきます トイレへ歩いて行ける様になれば弾性ストッキングを除去します					
説明指導	麻酔科医が麻酔について説明します お薬などのアレルギー歴がある場合はお知らせください 主治医・看護師が手術について説明します 人工肛門を造設される方にはパンフレットをお渡しします 同意書は入院後に担当看護師へお渡しください  必要物品 腹帯 1枚 パスタール 1枚 テープ式オムツ 1枚	貴重品は金庫へ入れてください。 手術中金庫の鍵は御家族に保管していただきます。	痛みや嘔気がある時は、遠慮なく看護師に申し出てください 必要時、痛み止めを使います  術後、主治医から手術説明があります 手術中、家族の方は待合室でお待ち下さい 術後の肺合併症・腸閉塞予防のためにも、術後積極的に身体を動かし歩行することがよいとされています がんばって身体を動かしましょう  人工肛門造設された方は、術後2日目より人工肛門のケアの練習を開始します					薬剤師がお薬について説明します 看護師が退院後の注意事項について説明します 栄養指導 → 栄養士が退院後の食事の注意点について説明します 	

※上記内容は、現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わることもありますのでご了承ください

◇総合的な機能評価◇

・日常生活動作	☐ 評価対象外	☐ 問題なし	☐ 要経過観察
・認知機能	☐ 問題なし	☐ 問題なし	☐ 要経過観察
・意欲	☐ 問題なし	☐ 問題なし	☐ 要経過観察

※ご質問等ございましたら気軽にスタッフへ声を掛けてください。

※特別な栄養管理の必要性 ☒ 有
☐ 無

主治医

私は、上記診療行為について、主治医から十分な説明を受けました。

患者 又は 親権者・親族等サイン (続柄)

高知赤十字病院 外科 05-021(患者用)